

第1回 城東区いじめ・不登校 中学生サミット（素案）

1 主旨・目的

いじめや不登校に関する課題や取組みについて、中学生や地域・保護者と共有することにより、今後の取組みの検討に活かしていく

城東区として、いじめ撲滅宣言の取組みを始め、2年目となった。これまでの教育会議等における意見を踏まえ、区としても次のステップに向け、取組みを進めてまいりたい。

今年度においては、区内6中学校の生徒（生徒会）が一同に会し、いじめの課題について主体的に考え、議論していく場を経験し、今後、学級会や全校集会などの学校生活や地域の場においても、その成果を活かしていけるよう、その一助を担っていくことができると考えている。

また、区広報誌やHPなどにおいても、城東区の子どもたちが生き生きと学び、心豊かに暮らしていけるまちづくりに向けた取組として、情報発信していく。

2 開催時期

- ・ 3学期（1月頃）

3 開催時間

- ・ 土曜日、午前9時～正午まで、
（展示の撤収は14時頃）

4 開催場所

- ・ 区役所3階会議室

5 参加者

- ・ 6中学校の生徒会（各校 3名程度）
- ・ 城東区教育会議委員（①保護者、②地域住民、③学識経験者の10名で構成）
- ・ 城東区長
- ・ 城東区職員

6 内容

○開会あいさつ（主催者）

○基調講演（30～40分程度）…堀氏（城東区教育会議議長）

○シンポジウム（30～40分程度）

…堀氏[司会]、学校関係者、区PTA代表、区長

- ・サミットの趣旨説明
- ・現状報告
- ・期待される対応策

○学校代表生徒による分科会（80分程度、6中学校×3名=18名）

- ・事例研究方式（もしくは各校の取組みの紹介等）
- ・チーム発表時を除き、非公開で実施（生徒、学校関係者、区職員のみ）
- ・3、又は4チーム（1チーム 4～6名、各校混成チーム）
- ・はじめに各チームで司会、書記、発表者等の分担を決める
- ・事例の検討、ホワイトボードに記載、発表準備（50分程度）
- ・1チーム5～6分で発表、5～6分で講評→全体講評は堀氏（30分程度）

※事前に事例（いじめに関するもの）の提示する予定

※生徒たちが有意義な議論ができるよう、進行上の適切な介入（コーディネータ役の配置）が必要

○閉会あいさつ（主催者）

○各種展示等

- ・ポスター、標語、視聴コーナー

※いじめに関する各校の取組みの既存のもの、本市や他市町村の取組み等を展示し、共有する。

7 その他

◆事務局 準備・事後作業について

- ・事例の作成
- ・出演者の調整、案内文の発送、リーフレットの作成、会場設営など
- ・各種展示物の収集、調査、展示
- ・HPや広報誌等による広報
- ・講演・シンポジウム・発表の取りまとめ、公表

◆学校 準備・事後作業について

- ・生徒の皆さんあての案内文、事例等の送付
※区役所より事前にお渡し
- ・広報誌等での情報発信